

第1回庄内町立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時：平成27年5月28日（木）19時～21時
- 2 開催場所：庄内町立図書館 二階自習室
- 3 出席委員：阿部慎一、小野寺姫、遠田由美子、館林由美子、小野寺博、高梨道明、仲條一志
- 4 欠席委員：なし
- 5 事務局：社会教育課長、図書館長、主査、主任

進行：主任

1 開会 主任

2 委嘱状交付(社会教育課長)

3 あいさつ

○社会教育課長

図書館協議会委員の任期替の時ですが、2年間の任期の中で、図書館の施設上の課題、運営上の課題があるわけなので、読書の推進や利用しやすい方策などハード、ソフト色々忌憚のない意見をいただきたい。

○図書館長

前回から引き続き委員の皆様、新たに委員をなっていた方に、新しい知恵や感想をいただき運営に活かしたい。図書館は多くの課題を抱えている。施設は、町全体の動きの中で進んでいくしかないが、職員として抱えている課題は、年々来館者数や貸出冊数の減少である。子ども読書活動推進計画が策定され、第二次という5年目を迎え、それぞれの学校や就園児から中学校と関係機関のみなさんが取り組み、子どもの読書量は全体としては飛躍している。その半面図書館の利用は減っている。図書館も広報活動に取り組んでいるが、顕著な成果は上がっていない。皆様からお知恵をいただきたい。

4 自己紹介

各自自己紹介を行う。

5 委員長及び副委員長の選任について

《事務局説明》

庄内町立図書館設置及び管理条例施行規則第9条より、庄内町立図書館協議会に委員長、副委員長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定めるに基づき選任する。

推薦により 委員長：小野寺姫 副委員長：小野寺博 選任

○委員長あいさつ

今期また委員長をさせていただきます。この協議会は、年3回と数少ない会なので、運営に関

してよくわからないことも多い。町民の一人として、みなさんから客観的にご意見をいただきたい。

6 報告事項 座長：小野寺委員長

- ・平成 27 年度庄内町立図書館運営計画について
 - ・平成 27 年度庄内町立図書館協議会年間計画について
 - ・平成 27 年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画について
 - ・平成 27 年度庄内町立図書館・庄内町内藤秀因水彩画記念館事業計画について
- 《事務局報告》

○報告事項 (1) ～ (4) について一括にし、今年 2 月の図書館協議会にも案を示していることから、特長的な事項のみ内容説明した。

(委員長) 報告事項について説明いただいたが、何か感想、意見ありませんか。

《委員の質問・意見》

特になし

7 協議事項

(1)庄内町立図書館事業評価平成 26 年度分について

《事務局説明》

○(1)の資料の内容説明

《協議の内容》

(委員長) 事業評価についてたくさんの資料について説明いただいたが、皆様から質問、意見をいただきたい。

(委員) 図書館は膨大な事業をやっていると感じた。

(委員) 今日はじめて閉架書庫を見せていただき、何十年図書館を利用しているが、開架の閲覧室にある本がすべてだと思っていた。インターネットで調べると、開架に並んでいない本がずらっと出てくる。利用者の中にもそういうことを知らない人は多い。

(委員) 学校図書館での図書利用は増えていると聞かすが、学校と図書館の本と重複していたりするののか。

(事務局) 重複しているものもあるし、そうでない本もある。

(委員) 学校間同志でも、貸し借りをやっている。調べ学習で利用する場合、図書館と同じ本がいくらあってもさしつかえない。

(委員) 学校に読みたい本があれば、図書館には来ないのではないか。でも図書館には、人気のある本は 2 冊とかある場合もある。

(委員長) 利用者としては、図書館の状況はいかがか。

(委員) 私は、本を借りるとすぐ帰るので、落ち着いて新聞を読んだりしない。そういう利用者の気持ちはわからない。ただ、一般の人がゆっくり本を読める雰囲気にはなっていない。

(委員) 分館の 2 階にあった図書室が、1 階に下りてきたのでとてもうれしい。まだまだいろんな工夫ができると思う。職員も事務室より近いところで本を選べる。借りるほうも余り気を使わな

いで借りれるし、部屋の雰囲気も明るくなり、利用者も増えてきて良かったと思う。立看板や表示の工夫が必要だが、職員2人では対応が難しいので、小学校の図書館応援団のように、分館にも協力してくれる応援団のような仲間を募り実践できればいいと思う。

(委員) 1階のトイレから図書室へ案内する工夫が必要。「分館」というインパクトがあり、子どもたちの興味を引くような表示の工夫も必要である。

(委員長) 分館は、より手をつけやすい所だと思うので、実践してほしい。

(委員長) 図書館に何を求めているか。本を読まない人は図書館へ来ないので、貸出冊数だけで判断していいのか。図書館をどういう場所にするべきなのか。図書館の機能として、本を貸すだけでなく、人が集まる場所になるといい。

(委員) 中学生の子どもが、以前は、図書館に友達ときて本を読んだり勉強したりしていたが、昨年からクラスセができたことで、2階のスペースでジュースを飲みながら、過ごせるというのがわかり、そっちに足を運ぶようになった。

(事務局) 高校生もクラスセの2階で勉強していると聞く。

(委員) 公共施設で場所があれば、ゆっくりして雑誌や新聞は読める。

(委員) 資料で中学生の女子が昨年度と比較しかなり貸出冊数が減少していたが、最近の中学生は、スマホやIパットタッチで調べ物など利用している。30歳代の女性もスマホなど利用するので、料理の本は借りにこないのではないかと。スマホなどで調べるのは簡単にできるのでいいのだが、読書習慣がなくなるのがこわい。学校に地域コーディネーターがいることで、学校図書館での貸出冊数は向上したが、1冊よい本を選ばせ、じっくり読ませたいと思う。楽しんで読めることが生涯の読書習慣をつけることになると思っている。PTA 連合会でも、スマホのやりすぎはだめ、時間を決めて行い、勉強や読書をしようと活動している。

(委員) 子どもたちは、長い時間スマホとかに夢中で、読書をしている姿がない。スマホしながら本は読めない。クラスセを利用している子どもたちがいるなら、そこに本を持っていくことはできないのか。高校生も、駅に行くより、飲み物も飲めるし、気軽に読書できるいい環境になるのではないかと。

(館長) 駅に図書がおいてあるところもある。ひとつのアイデアである。

(委員長) 金融部門とか園芸の本とか、待っている時間に借りてもいい。

(課長) クラスセには、高校生はついでに寄っている状態である。本に親しむ機会をどう与えるか。例えば廃棄図書を置き、自由に読めるようにするとか。貸出だと本の管理が発生するので大変だが、廃棄図書であれば自由に置けるのではないかと。児童書やコミックの貸出冊数の減少大きいけど、どういう分析をして、何が課題であるか明確にしないと解決策はみえてこないのではないかと。昨年度の比較のみでは傾向はわからず、ある程度3年間位の資料は出していかないといけない。

(館長) 来館者の減少と貸出冊数の減少は、比例している。中学生も高校生も減っている。若い人に魅力あるものが配架になっていないのではないかと。ヤングアダルトコーナーを充実させないといけない。料理本でも女性層の来館者増やしたいけど、インターネットやスマホで見ている時代となり、その年代のニーズをどういうものを求めているのかを把握して、運営していかないといけない。従来からコミックは、集客力があつた。劣化により廃棄したが、買い替えも必要だろう。

読書の質も考えつつ、コミックの中でも、話の内容として価値あるものを、配架していく工夫もしていかないといけない。

(委員) クラッセにヤングアダルトコーナーがあった。

(委員長) どこに焦点をあわせるか。学校図書館が充実した中で、読書の種をまいてもらっていると思う。後に続く方策が必要。子ども読書活動の推進の中で、せつかく本を好きになった子どもたちに対し、家庭の中で親たちも本を読むとさらに刺激する役割がある。

(課長) 分館を読書だけでは考えていない。狩川公民館で放課後子ども教室で100人ほど利用しており、分館の利用も一部ある。せつかく分館を利用しているのだから、地域の人とのふれあいも進めていく切り口にしたい。図書館ボランティアの協力の手法が出来れば放課後図書室に誰かがいると、安心して利用できる環境に繋がると考えられる。

(委員長) 学童保育でも、子どもたちは好きなものしか見ない。強制的に読ませることも一つのきっかけになる。本を手にとるのが、習慣になればいい。

(館長) 小学校で本を一生懸命読んできたので、中学校では、年度当初は1年生が学校図書館に並ぶのにびっくりするとのこと。それが本格的に部活が始まると図書館に並ばなくなる。これまで身につけてきた読書習慣を維持していくために、読書にどうつなげるかである。

(委員長) 今の子どもたちが見につけた読書習慣が、大人になって芽を出して、その受け皿として図書館の環境が整っていればいい。

(委員) 図書館だよりの「よめっちゃん」は、とてもよくできているが、どの範囲まで配っているのか。

(事務局) 公民館、役場窓口やクラッセとか、町内の施設に配布している。また、ホームページにはカラーで掲載している。

(委員) 図書館にいい本があるとPRし、人を呼び込むのに役立ってほしい。

(館長) 公民館には、たくさんのパンフレットがあるので、その中から手にとってもらえるのは難しい。持ち運びに便利のように折りたたんでいるが、インパクトがないと手にとってもらえない。予算の関係でカラー印刷はできないが、関係職員みんなで工夫して作成しており、集客、情報、啓発につなげたい。

(委員) もっと多くの人に目にとまってほしい。

(館長) さきほどの話で、クラッセの2階の利用も考えたい。

(委員長) その他何かありませんか。

(委員長) みなさまいろいろなお意見いただきありがとうございました。

(3) その他

特になし

8 その他

次回日程について

(事務局) 教育振興計画関係の特に図書館関連部分について、みなさまにご意見をいただくために図書館協議会の次回の時期を、6月末か7月上旬なるか未定だが、よろしくお願ひしたい。

9 閉会 主任